

# アメリカ看護研修

サミュエルメリット大学 (SMU) / 11日間 (3月) 約28万円



## 今だからできた 貴重な体験

高柳 亜矢香 看護学部3年



今回の研修では多くのアメリカの文化や医療に触れ、日本とアメリカの違いや共通点を直に感じる事が出来ました。様々な施設を訪問させていただく中で日本には無い考え方や視点を知ることが出来ました。アメリカ看護研修に参加したことで、今まで目を向けてこなかったことに興味を持ち日本ではどうなのか、更に日本の医療について知りたいと感じるきっかけにもなりました。学生と交流する機会も多く、アメリカの看護学生の看護の勉強に対するモチベーションの高さを感じてとても刺激を受けました。交流する中で英語を使って伝える事の難しさや、楽しさも感じる事が出来ました。毎日が新しい発見と出会いの連続で、とても新鮮で貴重な体験だったと思います。



## 自分を成長させてくれた11日間

櫻井 優奈 看護学部3年



ずっと行きたかったアメリカと、この研修に参加でき、とても良い経験となりました。個人的に訪れたのでは体験できないような病院や施設の見学、サミュエルメリット大学での講義、アメリカの看護学生との意見交流などの関わりの中で、勉強への姿勢や看護師としてどんなことをしてみたいかを改めて考える事ができました。アメリカで勉強してみたり、働いてみたいと感じ、視野を広げることができました。また、アメリカの看護学生の友人もでき、とても良い刺激となりました。10日間の滞在でしたが、ホームステイやサンフランシスコの空気に触れ、他国の文化も体験することができました。研修に関わって下さった方々に感謝します。ありがとうございました。

## ホームステイ体験談



## 笑顔の大切さ 佐々木 美空 看護学部3年

このホームステイで私は家族の絆や笑顔の大切さを再認識しました。私の滞在先のホストファミリーは両親と5歳の女の子と3歳の男の子の4人家族でした。私は日本から折り紙、だるま落とし、紙風船などの玩具を持って行ったのですが、遊び方、折り方を身ぶり手ぶりで伝える私をみんな理解しようとしてくれました。その姿に感動しました。普段、日常生活をしていく中でご当たり前のことと捉えがちですが、ホームステイをすることで、「笑顔の大切さ」、「相手を理解しようとする姿勢をみせることがいかに大事なのか」を学ぶことができました。これは看護を学ぶ私にとって一生の宝物になることでしょう。人に喜ばれることを喜ぶことができる人間になりたいと思いました。

## 施設・病院見学



## 研修の真髄!! 施設見学

渥美 菜々 看護学部3年



保健医療福祉施設の見学では、①末期の小児患者が家族と最後の時間を静かに過ごすための小児ホスピス、②高齢者の自立支援に力を入れているデイサービス、③サンフランシスコの一等地に佇む高級老人ホーム、④黒人や貧困層に手厚いサポートを提供する老人ホーム、⑤アメリカの最先端の医療を備えた病院を見学しました。どの施設においても利用者個人の意見が尊重され、治療や支援のプランに反映されており、「個人」に合わせて多種多様かつ適切な支援が提供されていたことが印象的でした。今回、研修に参加したことで自分の価値観や視野が広がりました。講義や演習、保健医療福祉施設の見学を通して、アメリカの看護の実情や特徴、日本の看護との共通点や相違点を学ぶことができ、自分の中に新たな知識や経験として積み上げられたからです。今後、自身の飛躍の糧として十分に活用していきたいです。

# 観光・料理



## 本場の味に大満足!

高田 侑季 看護学部3年

アメリカでの食事は肉類、油ものも多く、日本と味付けの違うものがあるのがあって慣れるまで大変でした。ただ、近くのスーパーのブラウニーはとて美味しくて、部屋のみんで一緒に食べたりすることがとても楽しく思い出に残っています。ホテルの近くのステーキ屋さんでは大きなお肉を友達とシェアして食べました!アメリカに行ったら大きな肉が食べたいと思っていたので夢が叶って嬉しいです。フィッシャーマンズワーフでもステーキを食べたのですが、日本語メニューもあって驚きましたこの地域でとれた鮭を使った鮭サンドも食べられて、アメリカを満喫出来た気がします。ただ、白米が食べられない、お茶が売ってないので、好きな方は持参するといいかもかもしれません。



## クラムチャウダー ケーブルカー アシカ



仙田 悠花 看護学部3年

日本とは全然違う景色、雰囲気、言葉、文化を感じることができ、私は研修中の移動時間はすべて観光気分を楽しむことができました。休日にSMUの学生が連れて行ってくれた"Fisherman's Wharf"ではクラムチャウダーを食べたりお土産を探したりアシカを見たり。この日は通訳さんがいないので自分たちで英語を使ってコミュニケーションをとることができてとても良い経験になりました。次の日は私たち聖隷の学生だけの自由時間。私はサンフランシスコ市内で買い物をしました。日本より品数が多いので洋服や靴、化粧品などとても良い買い物ができました。ケーブルカーやお店の外装など、すごくお洒落なので歩くだけでも楽しかったです。



●概要 大学内にある最先端のシミュレーションセンターでの演習のほか、講義の受講、地域病院や高齢者施設などの見学等を通して、看護先進国であるアメリカの看護や福祉事情について学びます。

日程	スケジュール
1	14:25 中部国際空港発→10:30 (アメリカ時間) サンフランシスコ国際空港着→サミュエルメリット大学へ
2	9:00 ~ 9:45 学部長・副学部長からの歓迎→10:00 ~ 11:00 講義:「アメリカのヘルスケアシステムにおける看護師の役割」→病院にて昼食→13:00 ~ 15:00 演習:「看護技術」→15:15 ~ 16:15 キャンパスツアー→16:30 ~ 18:00SMUの学生によるウェルカムパーティー→ホテルへ
3	9:00 ~ 12:00 演習:シミュレーションラボにて→昼食→13:30 ~ 16:30 演習:シミュレーションラボにて→ホテルへ
4	9:30 ~ 11:30 施設見学: George Mark Children's House (小児ホスピス)→昼食→13:30 ~ 15:00 演習:「ヘルスアセスメント」→16:30 ~ 18:00 歓迎会→ホテルへ
5	10:00 ~ 13:00 施設見学: Center for Elders' Independence (高齢者自立支援センター)→13:00 ~ 14:30 昼食→14:30 ~ 16:30 講義:「アメリカのヘルスケア」→ホテルへ
6	9:00 ~ 16:00 サンフランシスコでの観光・ショッピング→16:00 ホストファミリーと対面
7	ホストファミリーと過ごす
8	9:00 ~ 11:30 演習:「SMUの学生の臨床体験」→昼食→13:00 ~ 16:00 施設見学: John Muir Concord 病院→ホテルへ
9	午前 施設見学: St Mary's Center (支援施設)、St Paul's Tower (高齢者施設)→午後は自由行動→17:00 ~ 18:30 お別れパーティー
10	12:10 サンフランシスコ国際空港発
11	18:10 中部国際空港着